

# かけがえのない ひとりひとりのために

## 特別支援教育の案内



特別な支援が必要な児童生徒の自立と社会参加に向けて、一人一人のニーズを把握し、一人一人の持てる力や可能性を最大限に伸ばし、生活や学習上の困難を改善、克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うことが特別支援教育です。

～未来を拓く、豊かなところと個性をはぐぐむ～

取手市教育委員会



取手市藤代700

TEL: 0297 (74) 2141

## 特別支援学級の教育課程

知的障害特別支援学級日課表（例）

|   | 月  | 火  | 水    | 木    | 金      |
|---|----|----|------|------|--------|
| 1 | 国語 | 算数 | 算数   | 国語   | 生活単元学習 |
| 2 | 算数 | 生活 | 体育   | 音楽   | 算数     |
| 3 | 道徳 | 国語 | 自立活動 | 図画工作 | 国語     |
| 4 | 体育 | 音楽 | 国語   | 学級活動 | 図工     |
| 5 | 国語 | 体育 | 生活   | 国語   | 生活     |

<小学校1年生>  
週25時間授業

特別支援学級  
13時間

交流学級  
12時間

**自立活動**（すべての特別支援学級、特別支援学校等）  
必要な知識・技能、態度、習慣を養い、心身のバランスを整えます。  
日常生活や学習場面における様々なつまづきや困難さに対応した学習内容  
「健康の保持」「心理的な安定」「人間関係の形成」  
「環境の把握」「身体の動き」「コミュニケーション」

個別の指導計画に  
基づく指導  
個別指導  
小集団指導

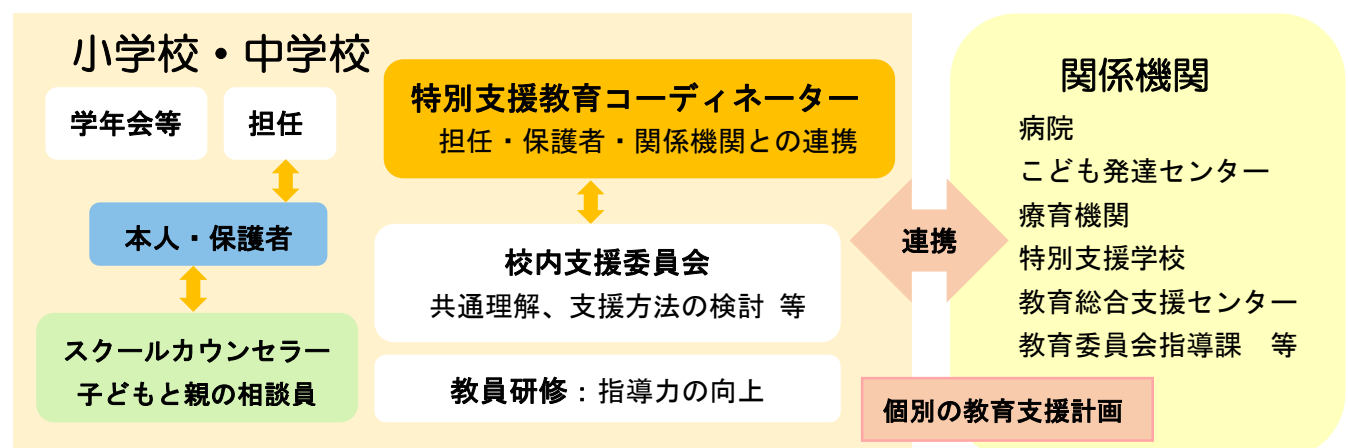
**生活単元学習**（知的障害特別支援学級、特別支援学校等で指導）  
人とのやりとりや体験を通して、社会性やマナーを身に付けます。  
行事を中心とした単元：学校行事や七夕等の季節行事  
生活課題を中心とした単元：調理実習、買い物学習等  
製作・生産活動を中心とした単元：カレンダー作り、栽培等



**特別支援学級での学習・活動**  
発達段階に応じた各教科等の学習をします。  
特性に応じた支援  
絵カードや文字カード、タブレット、  
補助具、動作化や視覚化

**交流学級での学習・活動**  
集団生活に必要な知識・技能を学習します。  
・学校行事 ・総合的な学習の時間  
・各教科の学習 ・休み時間での交流  
・給食、清掃、学級活動、等

## 校内における支援体制と関係機関との連携



# 一人一人に応じた支援

特別な支援を必要とする児童生徒が在籍する全ての教育現場において実施



一つのことを習得するのに何度も繰り返す  
分からないことが多くて時間がかかる  
勉強が苦手で自信がない



集団行動が苦手 変更や変化が苦手  
集中力が続かない  
我慢することや待つことが難しい



高所に登ったり、飛び出してしまったりする  
常に手足が動いている、一定時間座ってられない  
我慢することが苦手



動きがぎこちない、ものをよく落とす  
鉛筆や定規など道具がうまく使えない



すらすら読めない 「読む」が苦手  
こんな形の字だったかな 「書く」が苦手  
間違っって聞いてしまったかな 「聞く」が苦手  
九九が覚えられない 「計算する」が苦手

「できる」  
「分かる」を実感

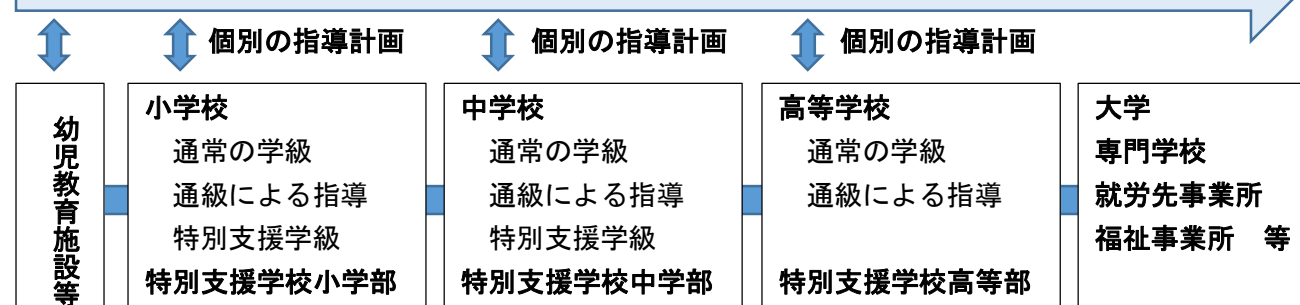
スモールステップ  
繰り返しの学習  
興味を持てる内容  
教材・教具の工夫  
タブレットの活用  
課題量の調整  
時間の調整  
環境調整



## 学びの連続性

一人一人の状況に応じた個別の教育支援計画を基に引き継ぎを行い、就学前教育から高等学校卒業までの切れ目のない支援を進め、学びの連続性を大切にします。（県「個別の教育支援計画活用ブック」より）

個別の教育支援計画：一貫した支援を行うための教育的支援の目標や内容



### ◇個別の指導計画◇

個別の教育支援計画を基にした、学期や学年ごとの短期的な目標や指導内容等の計画

## 県立特別支援学校

障害に配慮した施設環境の中で専門性を生かし、少人数の学級で小中学校等に準ずる教育を行うとともに、学習上又は生活上の困難を克服し、自立を図るために必要な知識技能を習得できるように指導をしています。障害の状態に応じて弾力的な教育課程を編成します。

伊奈特別支援学校（知的障害） 下妻特別支援学校（肢体不自由）  
霞ヶ浦聾学校（聴覚障害） 盲学校（水戸・視覚障害） 友部東特別支援学校（病弱）

居住地校  
交流

# 一人一人に応じた学びの場

市立小・中学校

## 通常の学級

一斉指導の場で学級担任が本人や保護者と相談し、誰もが「分かる」「できる」授業を目指して、個に応じた指導方法や教材等の工夫をします。

1年～4年：1クラス35人、5年・6年：1クラス40人（令和3年度より段階的に変更）

## 通級による指導（通級指導教室）

通常の学級に在籍し、特定の時間だけ個に応じた指導を行います。主として各教科の授業を通常の学級で受けながら、困難さを改善・克服することをねらいとした「自立活動」等の指導をしています。

言語指導、読み書き、計算、視覚認知、感覚統合、ソーシャルスキルトレーニング、等  
○週1時間から8時間程度の個別指導または小集団指導を行います。



## 交流及び共同学習：児童生徒が共に学ぶ場

経験を深め、社会性を養い、豊かな人間性を育む場  
お互いを尊重しあう大切さを学ぶ機会



## 特別支援学級

一人一人の困り感や特性を理解するとともに、個別の教育的ニーズを把握し、少人数による適切な指導や支援を行います。実態に応じた学習の目標（個別の指導計画）をたて、学習内容を工夫します。

1学級：最大8人まで 在籍人数により学級数の増減あり（例：10人→2学級）

○原則として週時間の半分以上を特別支援学級で各教科、自立活動等の学習をします。

## 知的障害特別支援学級

小集団の中で、生活に役立つ内容の指導をしています。小学校では基本的な生活習慣の確立や日常生活に必要な言語や数量等の指導、中学校では、社会生活や職業生活に必要な知識・技能を身に付けられるよう指導しています。

## 自閉症・情緒障害特別支援学級

安心できる環境の中で、心理的な安定を図りながら、言語の理解と使用、場に応じた適切な行動、集団参加に関する指導をしています。

## 言語障害特別支援学級

発音が不明瞭であったり、話し言葉のリズムがスムーズでなかったりする児童に、興味・関心に即した言葉遊びや会話等を通して、正しい発音や楽に話す方法の指導をしています。